

# 北浦街道の起点



亀山八幡宮の鳥居の左側に、山陽道の起終点を示す道標とも言うべき重厚な碑が建っています。これは、明治11年9月、唐戸渡し場の新築を記念して建立されました。

山陽道の起終点というのは、九州の西海道へ（海峡の渡し場）とつながる交通の要衝であったことを意味します。

その後、国道の拡張工事などにより位置が変わり、現在地に落ち着いたのは昭和29年のことです。